

令和元年度

第2回在宅医療・介護連携推進協議会

会議録（要旨記載）

日時：令和元年9月26日（木）午後1時30分～
会場：湖西市健康福祉センター3階 小会議室

1. 出席者

委員

伊藤 健（浜名医師会）
牛田 知宏（浜名医師会）
藤田 周子（湖西市医会）
尾崎 宏嘉（浜名歯科医師会）
塩野 州平（浜松市薬剤師会）
内山 大輔（介護老人保健施設まんさくの里）
鈴木 織江（浜名病院地域医療連携室）
夏目志津子（市立湖西病院在宅支援室）
白井 寿子（訪問看護ステーションはまな）
松井 喜恵（湖西市訪問看護ステーション）
内藤加代子（地域包括支援センター湖西白萩）
浅井 恵子（ケアプランセンター陽菜）
稲本 直子（サンシティあらい）
吉田 朝子（湖西市社協介護センターこさい）
山下いづみ（浜松市医師会 在宅医療推進員）

事務局

石田 裕之（長寿介護課課長）
荻野 敏明（長寿介護課課長代理）
中西 歩（長寿介護課主査）
白井まり子（在宅医療・介護連携支援センター相談員）
小野田健児（健康増進課課長代理）

オブザーバー

柴田 剛弘（湖西市消防本部 警防課救急係長）

2. 会議次第

1. 開会 挨拶

2. 議事

(1) 在宅医療データベース調査・・・資料1

(2) お助けブック修正追加内容について

(3) 市民への在宅医療普及実施計画について・・・資料2

(4) データで見る現状

(5) 在宅医療利用者急変時の医療機関受診の現状と課題・・・資料3

(6) その他

3. 次回案内

次回11月28日(木)(又は12月5日(木)) 予定

3. 会議内容(要旨記載)午後1時30分開会

1 開会あいさつ	長寿介護課長) お礼及び挨拶。お達者度について(湖西市 男性1位、女性5位)。
2 議事	
(1) 在宅医療データベース調査項目について	<p>伊藤会長) 速やかな議事進行に協力をお願いします。事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明 資料1)</p> <p>昨年度と同様、三師会の委員にはアンケートの配布と回収について御協力をお願いします。</p> <p>追加箇所について: ホームページ掲載の項目、昨年度アンケートからの変更の有無について追加。医療機関用アンケートについて、対応できる地域記入欄を追加、施設用アンケートについて、施設名及びサービス種類記入欄を追加。</p>
(2) お助けブック修正追加内容について	<p>伊藤会長) 事務局説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税に伴いシュミレーションのサービス料の改定を行う。 ・お助けブックにシズケアかけはしの紹介ページを追加
(3) 市民への在宅医療普及実施計画について	<p>伊藤会長) 事務局説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明 資料2)</p> <p>牛田委員と打ち合わせをし、介護サービス編とエンディングノート編の二本立てで実施してはどうかと話し合ったがいかがか。</p> <p>牛田委員) 昨年、ゼロから話し合い、話し合いがなかなか進まなかったののでただき台としての案です。昨年度は長尾先生に在宅医療全般を講演していただき、そのあと訪問看護について話をしていただいた。昨年度の話し合いで、シリーズ化していこうと、アンケートをとった案がこの資料に記載しているものです。昨年度は、訪問看護についてお話していただいたので、その次の介護サービス編でいかがか。昨年度多職種連携研修会で入浴サービスなど写真を付けて専門職に説明したことがあったが、その時の内容を一般向けに説明し介護サービスについて知っていただくことと、今年多職種研修会で ACP について集中的に研修しているので今年はエンディングノートについての二本立てで進めてはどうか。</p> <p>昨年、シリーズ4の劇という案も出たが、興味は持っていただけと思うが、実際に演技をするのは難しいので、朗読劇などのようなもの</p>

の方が現実味があるかと思う。しかし、脚本や練習などを考えると今年度の実施は難しいと考えている。

来年度については ACP を盛り込んだ内容はどうかと考えているが今年度の講座については昨年度専門職研修時に講演していただいた方々に講演をお願いし、エンディングノートの説明で ACP に向けての前ふりのような形で講演会を開催してはどうかと案として考えた。

伊藤会長) 案として意見をいただいた。介護サービスを市民に幅広く知っていただくということもよいかと思う。元気な市民はあまり介護サービスについて知らない方も多い。具体的なサービス利用についての内容でどうかという案だがいかがですか。

たとえば、写真入りで入浴サービスの説明し、訪問看護ステーションについても、入浴前に血圧を測定するなどのサービスも盛り込んでいくと安心だなと思っていただけるかもしれない。

サービスの説明以外前半の講演はないのですか？

事務局) 案としては、各 15～20 分説明をしていただく内容をメインと考えています。

伊藤会長) はじめに講師が説明して、いろいろなサービスの展開を市民に説明するという形の方が分かりやすい。骨組みはこのような形でよいでしょうか。

内藤委員) 介護保険となると、もっと幅広いサービスとなると思う。今回このサービスの説明だけでは中途半端のように思う。例えば、ケースをあげ、そのケースが利用しているサービスを説明するとか。

伊藤会長) メインテーマの講師が大まかなケースの枠組みを説明して、利用しているサービスを説明していくという形ですか。

内藤委員) サービスのプランニングまで話を持って行きたい。

浅井委員) 例えば事例を話して頂き、「この方はこのような介護サービスを利用し在宅での生活を可能にしています。」というように持って行くことは出来ないだろうか。こんな状態でも大丈夫だと安心を与えたい。

牛田委員) 事例で行う場合、講師との兼ね合いは？

伊藤会長) 経験豊富な医師であれば入浴サービス等の事例は持っていると思われる。

サービス現場の苦労なども出せると良い。

内山委員) 居宅サービスを種類ずつ説明するのはどうか。

鈴木委員) 羅列し一つ一つ説明しても聞き流されてしまうと考える。

困る場合の事例に合わせての説明の方が市民の感情が入りやすい。

藤田委員) 事例が発生してからとなると劇が良いが・・・

	<p>山下委員) 専門職が行う劇が他市町で好評を得ているが・・・</p> <p>藤田委員) 事例に合わせ色々悩むところからの方が理解しやすい。</p> <p>牛田委員) 劇に関しては時間を要する為、今後としたい。</p> <p>藤田委員、山下委員) シリーズ化であるという認識は市民にないので毎回インパクトのある紹介をして行きたい。</p>
<p>(4) データで見る現状</p>	<p>事務局説明 参考2)</p> <p>要介護認定者が増えていないのは介護認定を受けずに総合事業の利用が多いのが理由。</p> <p>訪問看護利用の伸びは「医療依存度の高い方が増えている」「精神疾患の利用者の増加」「難病疾病の指定が増えた」ことが挙げられる。</p> <p>訪問リハビリ利用に関しては在宅でのリハビリ継続意識が高くなっていることが挙げられる。</p> <p>居宅療養管理指導については、浜松市、湖西市ともに増えており1.35倍となっている。協議会で掲げている「湖西であんきに暮ら住まい」「時々入院、ほぼ在宅」に向けて関係者の皆様のご尽力の結果であると考えている。</p> <p>訪問リハビリについては、今年7月にまんさくの里が開設したため今後増えて行くと考えている。</p> <p>湖西市では令和2年に44床が介護医療院への転換が見込まれている。</p>
<p>(5) 在宅医療利用者普及実施計画について</p>	<p>事務局説明 資料3)</p> <p>湖西市消防本部、柴田係長) 消防本部の立場、急変時の救急車利用について説明。搬送時に「蘇生、延命処置しないでほしい」と希望する方がおり全国的にも問題視されているが DNAR については明確に決まっておらずこれから決まってくる可能性もあるが、法整備がない現状である。</p> <p>牛田委員) 情報共有システムに入ることは出来ないだろうか。話し合っていきたい。</p> <p>藤田委員) 在宅医の場合は急変時に対応出来るが、主治医が病院医師の場合、病院へ運ばないと対応が困難である。</p> <p>松井委員) 訪問看護の立場からですが主治医が病院医師の場合、看取りになった時は、病院へ運んで下さいと言われる。しかし、介護タクシーは、夜間利用できず、また利用には予約が必要。では、急遽対応が必要となった場合、だれが搬送するかとなると、救急隊の方をお願いするしかないというのが現状です。</p>

<p>(6) その他</p>	<p>柴田係長) 急変時の119番通報であれば、状態にもよるが緊急性が高い適正利用であれば搬送は可能である。</p> <p>全国的にも蘇生をやるかやらないかの問題だけではなく、その後、搬送するのかどうかについてもまだ決定しておらず、はっきりとお答えできないのが現状です。</p> <p>伊藤会長) 主治医が病院医師の場合、末期対応の依頼を開業医にする時は情報を頂いていると良い。</p> <p>牛田委員) 病院と開業医とのW主治医が望ましいが、受ける開業医の方も「大変な時だけ」と、当然ながら抵抗のある医師もいる。情報共有を行いシステムとして構築できると良いと考えている。</p> <p>伊藤会長) 消防とも、病院や医師会等と情報の共有という環境を作りたいため、協力をよろしく願いたい。</p> <p>牛田委員) 多職種リーダー研修会の企画は昨年度で終了した。今年度は11月30日(土)に「在宅医療介護連携に係る郡市医師会市町行政連絡協議会」が開かれる。</p> <p>塩野委員) 第2回湖西市在宅医療介護多職種連携研修会は11月7日(木)19時30分より湖西病院2階講堂で行う。</p> <p>講師は浜松医科大学附属病院で家庭医療学を専門にプログラムを実践されている井上真知子先生をお招きしてご講演をいただきます。ACPの実践に向けた内容となる。</p> <p>第3回の研修については、現場でACPに関わる専門の職種の方を中心に行う。グループワークやロールプレイとなると思うが同じく井上先生に講師をお願いする。具体的な内容については、井上先生と相談してプログラムを組んでもらい実施する予定。人数はだいたい絞られることとなると思うが、基本的には専門職の方、特に湖西病院、医師会の方に参加してもらいたい。</p> <p>伊藤会長) 研修会の回数について説明をお願いします。</p> <p>牛田委員) 年4回開催の希望が出ているのが実行するには今年度中に検討する必要がある。次回検討を行う。</p> <p>伊藤会長) その他あるか。</p> <p>事務局) 連携を目的とする多職種連携研修会に於いて特定の事業所に向けて攻撃する方が存在した。場を和やかにするため、感謝の言葉を記入するカード「メッセージカード」を書いて頂くのはどうか。</p> <p>参加者) 研修会では時間や効果を得ることが難しい。リスペクトしなくてはいけない研修等の場であれば利用もあるが書きにくいと思う。</p> <p>伊藤会長) 案として残しておいて今回は採用はなしとする。</p>
----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>白井委員) 10月の末で人事異動があり、協議会への参加は今回までとなる。11月から次の職員が配置され、この協議会に出席することになるためよろしくお願いします。</p> <p>事務局) 次回開催について</p> <p>11月28日(木)または12月5日(木)を予定している。</p> <p>決まり次第連絡を行う。</p> <p>伊藤会長) 令和元年度第2回在宅医療介護連携推進協議会を終了する。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------